



第127号

Web Fairy Paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第107回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第108回 WFP 作品展
- ・ 第108回 WFP 作品展特別出題
- ・ フェアリー版くるくる作品展9

結果発表

- ・ ちょっと早い2019年年賀詰作品展

読み物

- ・ WFP サロン 年賀詰紹介



2019/1

強欲協力詰 55手

				と					一
と	と	歩	と	歩	歩	歩	歩	金	二
			歩						三
		と		歩		香			四
			香		香				五
		銀		香					六
	歩		銀		歩				七
		歩				歩			八
	王						銀		九

持駒 歩3

2019年

あけましておめでとうございます。もう新しい年になって20日も過ぎていきますので新年らしさはないかもしれませんね。今年が平成最後の年ということで一つの区切りとなる年です。どうぞよろしく願い致します。

さあ今年も気合を入れてと思った矢先2日前(これを書いているのは19日)に体調を崩して、それでも頑張って仕事をしていたのですが昨日39度を越える発熱、喉の痛み、鼻づまり、頭痛で遂にダウン。病院に駆け込んで調べてもらったらインフルエンザA型であることが判明しました。

20日には詰四会があるのですが、これには参加することが出来なくなりました。なんともついていないですね。前の日に同居の息子もインフルエンザにかかっておりどうもそちら経由で感染したようです。

何はともあれ、今年のWFPも皆さんの投稿、解答が命であります。是非ともたくさんの方の投稿、解答で盛り上げて頂きたいと思っております。

今年もWFPを宜しく願い致します。

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第127号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

第107回WFP作品展(再掲)及び
第108回WFP作品展 担当：神無七郎



新年あけまして
おめでとうございます

今月初め、芝桜が咲いていました。温暖化も遂にここまで来た…わけではなく、この程度の狂い咲きは芝桜には珍しくないそうです。WFP誌では毎年「ちょっと早い年賀詰作品展」が行われていますが、ちょっと早い春の便りですね。

今月は「神無一族の氾濫」の結果稿作成時期と重なるので、WFP作品展の結果稿はお休みをいただいています。その「氾濫」に寄せられた短評の中で、気になる一節がありました。

左右反転は同一扱いしないのですね。

これは「氾濫 49」第5番、一乗谷酔象氏作の「天使詰」への短評の一節です。天使詰では同一局面の出現を禁じているわけですが、左右を反転させたとき同一局面となる図の出現も禁じられているかどうかという問題が、この短評で提起されているわけです。

結論から言うと、左右反転して同一となる局面は同一局面とは扱いません。これは天使詰に限った話ではなく、他のルールにも適用されるデフォルト解釈です。

例えば、「協力千日手」は先後協力して最短手数で初形に戻すルールですが、手順の途中で初形を左右反転した局面に辿り着いても、そこで目的達成にはなりません。

例として第33回WFP作品展で**33-1b**として出題した神無太郎氏の作品をご覧くださいませしょう。

神無太郎

協力千日手 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
			角	桂	王				九

持駒なし

(Web Fairy Paradise, 2011年1月)

58角 38玉 47角 49玉 38角 58玉
49角 69玉 58角 78玉 67角 69玉
78角 58玉 69角 49玉 まで 16手

この作品では8手目69玉と指した局面が、ちょうど初形を左右反転させたものになっています。しかし、左右反転した局面は初形と同一局面とは扱わないので、もう一度左右を反転させた8手を進めることで初形に戻ります。

これと混同しやすいのが、「左右対称形からの左右対称解を同一視する」という規定です。これはあくまで言葉通りの意味であり、同一視されるのは「手順」であって、「局面」ではありません。また、左右対称の手順を同一視する条件も、起点となる局面が左右対称形の場合に限られています。

更にフェアリーにおいては、「ルールが左右対称であること」という条件も加わります。古将棋の「横牛」や「横狼」(第62回WFP作品展特別出題で登場)のような左右が非対称の駒を使用した作品や、「キルケ」のように左右が非対称のルールで作られた作品にはこの規定は適用されません。

付け加えると、「左右」以外の対称性について同様の規定は存在しません。

将棋の小駒はすべて上下非対称ですし、盤でも「可成地域」は上下非対称です。従って、上下対称や斜対称の図に対称性を考慮した特別な

配慮は行われません。

今回「対称性」を話題にした理由はもう一つあります。「第50回神無一族の氾濫」のお題を「対称性」にしたからです。

50は100というキリの良い数字の半分です。「氾濫」を100回まで続ける予定はありませんが、「半分」と「左右対称」の連想からこのお題を選びました。

詳細は別頁の募集要項を見ていただくとして、「対称性」という言葉から想像力を膨らませ、対称性を強調した作品や、逆に非対称性を上手に使った作品をお寄せください。

「氾濫50」の開催は今年6月ですが、投稿締切は4月下旬、ちょうど芝桜が見頃の時期です。この告知も「ちょっと早い春の便り」かもしれませんね。

さて、今月のWFP作品展は第107回の再掲載分と第108回の新規出題です。

第108回は神無太郎氏から少し特殊な投稿作があったため、特別出題として別項で出題しています。締切は通常出題分と同じですので、解答は一緒に送られて構いません。

また、第108回は高坂研氏が点对称を使った性能変化系の新ルール「点鏡」の作品で登場。また、**108-1**の一乗谷氏の作品は左右準対称で、偶然にも「対称性」を強く意識させるラインナップになっています。解答者にとってはかなりハードな作品群ですが、挑戦し甲斐のある作品ばかりだと思います。どうかお見逃しなく！



〔第107回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第107回の出題は12題。内訳はPontamon氏1題、神無太郎氏2題、たくぼん氏1題、一乗谷酔象氏1題、上谷直希氏1題、青木裕一氏1題、占魚亭氏2題、変寝夢氏3題です。いつもより作者数が多く、いろいろなタイプの作品が登場するので楽しそうですね。

その代わりルールも多様で頭の切り替えは大変かもしれません。いつもより長い解答募集期間を利用して、着実に一問ずつクリアしていきましょう。

107-1はPontamon氏による簡潔な条件の推理将棋。条件が少ないので、ヤマが当たるかどうかで大きく難易度が変わりそうです。氏の作風による推理が鍵になりそうですね。

107-2と**107-3**は神無太郎氏の作品。氏は最近Imitator作品での登場が続きましたが、今回は対面とPWCということで、比較的慣れ親しんだ分野に戻ってきたと言えるかもしれません。**107-2**は持駒歩のみなので、打歩詰にならないように進めること。**107-3**はPWCなので駒を消さずにステイルメイトを達成するためのテクニクを駆使してください。

107-4は非標準駒数作品。盤面を埋め尽くす「と金」に圧倒されますが、その分手が狭いのでサクサク手が進むと思います。ただ、「禁欲」の条件があるので収束で少し考えさせられるかもしれません。作者がたくぼん氏だからといって、「強欲」と間違えないように！

107-5は一乗谷酔象氏創案の「天使詰」。天使詰は双方協力して同一局面を避けつつ最長の詰みを目指すルールですが、それでもこの狭い形で100手を越えるとは驚きです。難問だとは思いますが、怯まず挑戦してください。

107-6は久々登場の上谷直希氏の作品です。Queenの性能になった玉を詰めないといけないので大変そうですが、攻撃陣も強力。各駒の性能を最大限に活かしてください。

107-7は今回唯一の協力系ではない作品。前回に引き続き対抗系ルールの面白さを味わえると思います。「最善」指定があるので、攻方最短順を解答してください。

107-8と**107-9**は占魚亭氏の作品。Imitatorが使われているのはいつも通りですが、今回はそれにAntiAndernachが加わっています。受方持駒制限のある**107-8**と手数短い**107-9**のどちらが解き易いかは微妙ですが、どちらも難しいと思えば間違いはないでしょう。また、ど

ちらかの作品は、第 104 回 WFP 作品展における氏の短評の中に解図のヒントが隠れています。

107-10～107-12 は変寝夢氏の作品。最近登場した All-in-Shogi 2 作と、中立 Locust を使った作品です。All-in-Shogi の 2 作は第 105 回の作品が参考になると思うので、未見の方は第 105 回の結果稿を参考にしてください。

107-10 の玉は不動玉。一口に「不動」と言っても Dummy (偶) のように「利きがない」場合や、Zero (零) のように「現在の位置にのみ動く」場合、「利きは持っているが動かない手順を求める」(手順の制約) という 3 つのケースがありますが、今回は利きがない Dummy になっているので、「偶」で不動玉を表しています。

107-12 は中立駒が 2 枚もあるのが厄介。中立駒はどちらからも動かせるので、詰めるときだけでなく、ステイルメイトの時も扱いが難しい駒です。まずは Locust がどのような場合に動き、どのような場合に動けないのかを頭に入れましょう。そうすれば自玉の包囲と、中立駒の凍結を同時に達成する方策も立てられると思います。

〔第 108 回作品展各題への補足説明〕

今回の第 108 回の出題は通常出題と特別出題に分かれています。特別出題については別項にまとめているので、ここでは通常出題分の説明を行います。

第 108 回通常出題分は全 12 題。内訳は一乗谷酔象氏 1 題、たくぼん氏 3 題、Pontamon 氏 1 題、高坂研氏 4 題、変寝夢氏 2 題、占魚亭氏 1 題です。

難問あり、新ルールありで、解答は大変かもしれません、どの作品も内容が充実しているので見逃すのは勿体ないですよ。

108-1 は一乗谷酔象氏の天使詰。「第 49 回神無一族の氾濫」第 5 番の「Newton's cradle」のバリエーションです。左右対称のようで左右対称でない初形、角と銀という 2 種の駒の類似と相違等、規則的な構成の「Newton's cradle」とは異なる路線の作品です。しっかり読みを入れ、紛れを乗り越えてください。

108-2～108-4 はたくぼん氏の協力自玉詰。3 題とも受方持駒制限があるので、初形にある使用駒のみで詰型を探さねばなりません。更に「石」(不透過・不可侵領域) を多数配した狭い回廊の中で、詰みに至る手順を探すわけですから、簡単には解けません。この 3 題が今回最大の難

関だと思えます。

108-5 は Pontamon 氏の推理将棋ですが、「玉と両王手を掛けている 2 枚の駒で作る矩形面積が最小」という特徴的な条件が付いています。例えば以下のような図だと「矩形面積」は 18 となります。

〔例〕 矩形面積

両王手最短手数 of 9 手の終局図だと、42 の玉、92 の飛と 64 の角なので、42 から 94 までの矩形で 18 マス



ということで、まずは両王手を実現できる矩形面積の最小値とその形状を求めるのが先決ですね。

108-6～108-9 は WFP 作品展では初登場となる高坂研氏の作品。「点鏡」という新ルールでの登場です。まずは、作者の投稿からルール説明の部分を引用しましょう。

この点鏡というのは、昨年羆飛龍君が考案した新しいフェアリールールで、次のようなものです。

点鏡-55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。行き所のない駒はなく、その他のルールは通常の詰将棋に準ずるものとする。

なお、利き二歩有効か無効かについてはまだ取り決めがなされていませんが、今回投稿する作品を解図する上では特に支障は無い筈です。

敵味方問わず性能が変化するというので、対面系ルールと安南系ルールを合わせたような激しい性能変化が起こりそうなルールです。

文章だけではイメージを掴みにくいかもしれ

れないので、具体例をご覧くださいませ。

〔例題〕 高坂研氏作
点鏡協力詰 5手

							王	一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 金銀桂

13桂 11玉 22銀 12玉 **97金** まで 5手

この図がただの協力詰なら「22銀 12玉 13金 まで 3手」で詰みですが、「点鏡」ルールではこの手順の最終手に対し「97桂」や「97角」の受けが残っているため詰みになりません。この受けを消すために、直接王手ではなく性能変化による王手を使うわけですね。あらかじめ配置していた駒の性能を変化させて玉を仕留めるのは「点鏡」ルールの基本手筋の一つと言えそうです。今回出題の4題では他にも「点鏡」の様々な手筋が楽しめると思います。

なお、今回は「利き二歩」の有効・無効については指定がありません。WFP 作品展では「利き二歩有効」をデフォルト解釈（省略時解釈）としていますが、今回はどちらでも影響はないはずです。

108-10 と 108-11 は変寝夢氏の All-in-Shogi。相手の駒も動かせるので、108-10 は 1手詰ではありません。どちらの作品も「1手前の局面に戻すような着手は禁手」という規定を活用しているため、そこに留意して解図してください。

108-12 は占魚亭氏の作品。前回に引き続き、Imitator の使用だけでなく、AntiAndernach の条件が加わっています。もし解図に苦戦したら同氏の過去作や 107 回の結果稿を参考にしてください。

解答要項

第 107 回分解答締切:2019 年 2 月 15 日(金)

第 108 回分解答締切:2019 年 3 月 15 日(金)

宛先: k7ro.ts@gmail.com (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ k7ro.ts@gmail.com へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule97.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【対面】

敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【スタイルメイト】

王手は掛かっているが合法手のない状態にする。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2)位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

【禁欲】

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

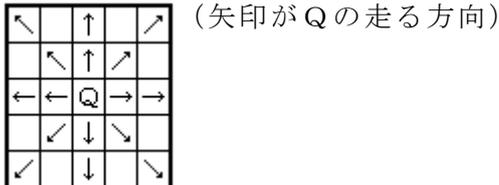
【天使詰（最長協力詰）】

先後協力して最長手順で受方玉を詰める。
(補足)

- ・悪魔詰と異なり不詰は避ける
- ・手順中に同一局面があってはならない
(初形を含む)

【Queen】(Q)

チェスの Queen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



【最善詰】

攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。
(補足)

- ・いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数数の余詰は不問。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【AntiAndernach】

駒を取らない盤上の移動（駒を取る及び持駒を打つ以外の着手）を行うと、着手後に相手の駒となる（玉を除く）。

(補足)

- ・細則は Andernach と同様で「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- 1)駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合相手の駒にならない
 - 2)駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
 - 3)駒を取らない盤上の移動の場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）

【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【All-in-Shogi】

双方とも、自分の手番のときに相手の駒を動かすこともできる。敵玉を王手がかかる位置に動かしてもいいし、敵の持駒を打つでもいい。ただし、双方とも1手前の局面に戻すような着手は禁手とする。(WFP122号参照)

(補足)

- 1)相手側の駒を動かすとき、自分側の駒を取らせることはできるが、相手側の駒を取らせることはできない
- 2)相手側の駒で自分側の駒を取らせたとき、その駒は相手側の持駒となる

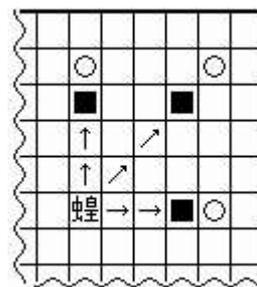
【Dummy】(偶)

自分では動かない駒

【Locust】(蝗)

フェアリーチェスの Locust (蝗)。

Queen の利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



(○が蝗の利き。

■は敵駒。これを取って○に移動する。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていたりすると跳べない。)

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。
取り方や動かし方は以下の細則に従う

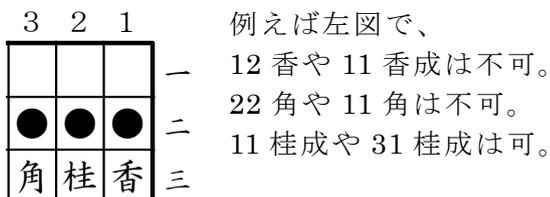
- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5)二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。

7) 中立駒でも 自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。



【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

- ・行き所のない駒はない



<第 107 回>解答締切:2019 年 2 月 15 日(金)

■ 107-1 Pontamon 氏作

推理将棋

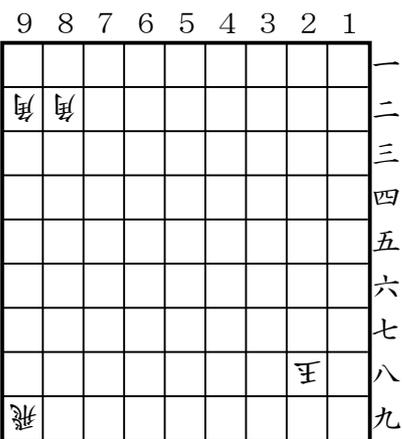
「11 手で詰めたって？」
「うん、最終手の 5 段目での飛成は初の駒成だったよ」

[条件]

- 1) 11 手で詰み
- 2) 最終手の 5 段目での飛成は初の駒成

■ 107-2 神無太郎氏作

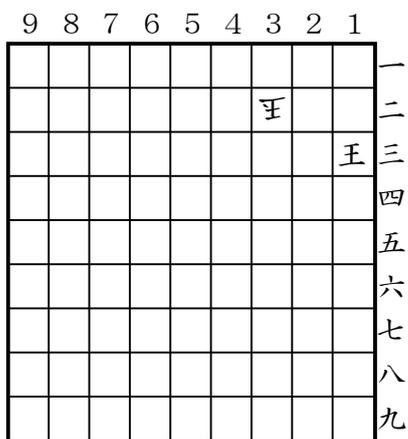
対面協力詰 9 手



持駒 歩4

■ 107-3 神無太郎氏作

PWC協力自玉スタイルメイト 10 手



持駒 香

■ 107-4 たくぼん氏作

禁欲協力詰 73手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	♀		一
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	二
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	三
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	四
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	五
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	六
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	七
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	八
♁		ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	九

攻方持駒 金31

受方持駒 なし

■ 107-5 一乗谷酔象氏作

天使詰 101手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						♁	銀	角		一
					♁			銀		二
					歩	歩		皇		三
					♁			王		四
					香					五
							王	爵		六
					爵					七
										八
										九

持駒 飛桂

■ 107-6 上谷直希氏作

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
角										四
										五
						王				六
			飛			♀				七
							銀			八
				ス			♁			九

攻方持駒 角

受方持駒 なし

※Q:Queen王

■ 107-7 青木裕一氏作

安南最善詰 27手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				と		と		王		一
										二
								王		三
					飛					四
				と					歩	五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 歩4

受方持駒 なし

■ 107-8 占魚亭氏作

AntiAndernach協力白玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
						王				六
	■									七
								王		八
										九

攻方持駒 飛

受方持駒 角2

※■:Imitator

■ 107-9 占魚亭氏作

AntiAndernach協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
■										二
										三
								王		四
										五
										六
									王	七
										八
										九

持駒 香

※■:Imitator

■ 107-10 変寝夢氏作

All-in-Shogi協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				銀				卒	一
									二
									三
									四
									五
									六
龍									七
									八
馬								偶	九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※偶: 不動王

■ 107-11 変寝夢氏作

All-in-Shogi協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
								歩	三
									四
王									五
								飛	六
角									七
									八
									九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

■ 107-12 変寝夢氏作

協力白玉スタイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								と	二
									三
								龍	四
								銀	五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 n角n蝗
※蝗: Locust
持駒角蝗は共に中立駒

<第108回>解答締切:2019年3月15日(金)

■ 108-1 一乗谷醉象氏作

天使詰 137手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
と								と	六
香	桂	と	香	と	香	と	桂	歩	七
			歩		歩		歩		八
					王				九

持駒 角2銀2歩

■ 108-2 たくぼん氏作

協力白玉詰 110手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
●	●	●	歩	卒	●	●	●	●	四
	●	●	●	●	●		王		五
●		●							六
	●	王		●	●			●	七
●		●						●	八
	●	馬		●			●		九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※●: 石 (着手不可、不透過)

■ 108-3 たくぼん氏作

協力白玉詰 130手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
				●	●	●	●	●	四
				●			入	●	五
				●	●			王	六
				●			●		七
				●		馬		王	八
				●	●	歩		飛	九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※●: 石 (着手不可、不透過)

■ 108-4 たくぼん氏作

協力自玉詰 168手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
●	●	●	●	●	●	●	●		三
			●				●		四
	●				●		●	●	五
	王	●	●	●	●				六
●		●	と		●	●			七
			飛	●		王		●	八
	歩		●	●	角		●		九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※●:石 (着手不可、不透過)

■ 108-5 Pontamon 氏作

推理将棋

「同じ筋の連続着手は僕が一度だけ指して、11 手目の両王手で詰めたよ」
 「この終局図では双方持ち駒が無いね。玉と王手している 2 枚の駒が入る矩形面積は両王手で最小だね」

[条件]

- 1) 11 手で詰み
- 2) 玉と両王手を掛けている 2 枚の駒で作る矩形面積が最小の両王手
- 3) 同じ筋への連続着手は先手が指した一度だけ
- 4) 終局時、双方とも持ち駒なし

■ 108-6 高坂研氏作

点鏡協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

馬						と		王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
	歩							飛	九

持駒 なし

■ 108-7 高坂研氏作

点鏡協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				皇	と				三
	雀		隼	王					四
									五
								桂	六
									七
					桂				八
									九

持駒 金

■ 108-8 高坂研氏作

点鏡協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								飛	二
								王	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角

■ 108-9 高坂研氏作

点鏡協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
								飛	六
							王		七
									八
						又			九

持駒 角2桂

「第 50 回神無一族の氾濫」投稿作品募集

「第 50 回神無一族の氾濫」への参加を募ります。今回のお題は「対称性」です。

初形や詰上りが左右対称の作品、手順が前後対称の回文詰、キルケ等の左右非対称のルール、左右非対称の利きを持つ駒を使った作品など、解答者に対称性を強く印象付ける作品を募集します。対称性は左右に限らず、斜対称、点对称などでも構いません。

また、1 題通常の協力詰（ばか詰）を募集します。今回のお題に該当する作品であれば、優先して採用します。

作品要件	対称性を主題とした作品
募集締切	2019 年 4 月 14 日（日）
募集作品数	4 + 1（ばか詰枠）
送り先	神無七郎（k7ro.ts@gmail.com） 上記宛先へ E-mail でお送りください。
備考	1 人何作でも投稿可。採否は 4 月 21 日までに通知します。



■ 108-10 変寝夢氏作
All-in-Shogi協力詰 5手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王	歩					
		王	歩							
				と						

持駒 なし

■ 108-11 変寝夢氏作
All-in-Shogi協力自玉詰 10手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

王	角	王			飛					
	●	王			●					
	●				●					
			●	飛	●					

攻方持駒 桂3香4

受方持駒 なし

※●:石（着手不可、不透過）

■ 108-12 占魚亭氏作
AntiAndernach協力詰 5手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

		■								
						王		王		

持駒 角

※■:Imitator

以上

第108回WFP作品展特別出題

担当：神無七郎

ここでは神無太郎氏から投稿された作品を特別出題します。

神無太郎氏は第103回で数学と関連した作品を発表されましたが、今回は更に数学色が強く、解図に先立ち、ある数学の問題を解かねばなりません。いわば「数学+詰将棋」です。

盤上だけに集中したい方にとっては手を出しにくい問題ですので、通常の出題とは分け、特別出題とすることにしました。特に学生の皆さんには、学力向上のためにも、ぜひこの問題に挑戦していただきたいと思います。もちろん社会人の皆さんも、頭の錆を落とすため、今回の解図に挑戦することをお勧めします。

まずは、今回の作品で使われる2つのフェアリー駒の紹介です。

【Q(n)-Leaper】(Qn)

nは任意の自然数で、以下で定義される複合八方桂。

$a_1, a_2, a_3, \dots, a_n$ がすべて異なる数で、n個のxについての2次方程式

$$x^2 - a_1x + a_2 = 0$$

$$x^2 - a_2x + a_3 = 0$$

$$x^2 - a_3x + a_4 = 0$$

...

$$x^2 - a_nx + a_1 = 0$$

のそれぞれの解 $(b_1, c_1), (b_2, c_2), (b_3, c_3), \dots, (b_n, c_n)$ がすべて自然数のとき、

$$Q(n)\text{-Leaper} = (b_1, c_1)\text{-Leaper} + (b_2, c_2)\text{-Leaper} + (b_3, c_3)\text{-Leaper} + \dots + (b_n, c_n)\text{-Leaper}$$

$a_1, a_2, a_3, \dots, a_n$ の組が複数ある場合には、それぞれで定義されるQ(n)-Leaperをすべて複合したものとする。

【P(n)-Leaper】(Pn)

nは任意の自然数で、 $n=ab$ となる自然数a、bを用いて定義される(a,b)-Leaperの複合八方桂。

まずは、説明が簡単なP(n)-Leaperから。

これは与えられたnを因数分解して、利きを割り出します。いくつか具体例を見ましょう。

例：

$$P(1)\text{-Leaper} = (1,1)\text{-Leaper}$$

$$P(2)\text{-Leaper} = (1,2)\text{-Leaper} (= \text{Knight})$$

$$P(3)\text{-Leaper} = (1,3)\text{-Leaper}$$

$$P(4)\text{-Leaper} = (1,4)\text{-Leaper} + (2,2)\text{-Leaper}$$

$$P(5)\text{-Leaper} = (1,5)\text{-Leaper}$$

$$P(12)\text{-Leaper} = (1,12)\text{-Leaper} + (2,6)\text{-Leaper} + (3,4)\text{-Leaper}$$

P(2)はいわゆる八方桂(騎)で、お馴染みの駒になりますね。nが素数だと話は単純ですが、合成数の場合は、跳び先がたくさん出てきます。

ややこしいのはQ(n)-Leaperです。

これは異なるn個の自然数を係数に使った所定のn個の二次方程式を作り、その解がすべて自然数の場合に、その解で利きを構成します。用があるのは「係数」の方ではなく、「解」の方だということに注意しましょう。

定義だけではイメージが湧きにくいと思うので、例題をご覧くださいませ。

【例題1】神無太郎氏作

協力白玉スタイルメイト8手

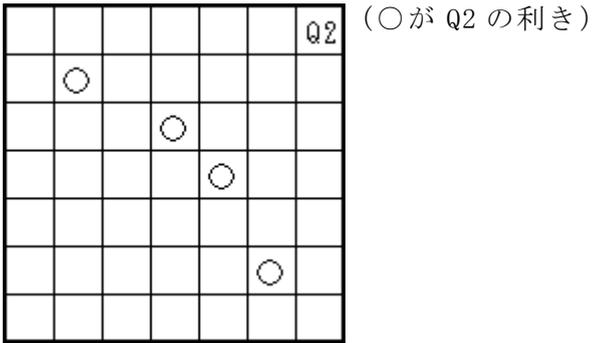
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									Q1	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 銀4

※Q1:Q(1)-Leaper 王

銀を捨てて玉を呼び出し、攻方 Q1 王が動け



今度は利きが求まった後も、割と手応えのある解図プロセスが楽しめそうですね。解答は本稿末尾に掲載しますので、自力で解きたい方は解図してから次のページにお進みください。

それでは、いよいよ本題です。解答募集作品は 2 題。両題共 Q(n)-Leaper の方は「玉」ですが、P(n)-Leaper の方はただのフェアリー駒です。この 2 題を解いた後、余裕のある方は、一般の素数で Q(n)-Leaper の利きがどうなるかについても考えてみてください。

なお解答締切は第 108 回 WFP 作品展の通常出題分と同じです。

ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっていないが合法手のない状態）にする。

【成禁】

詰手順中に駒を成る手があってはならない。

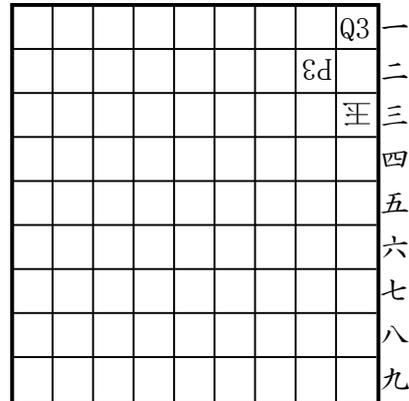
【左下無限盤】

拡大盤の一種。左及び下方向に無限に広がった盤を使う。

【Q(n)-Leaper】 (Qn) ※本文参照

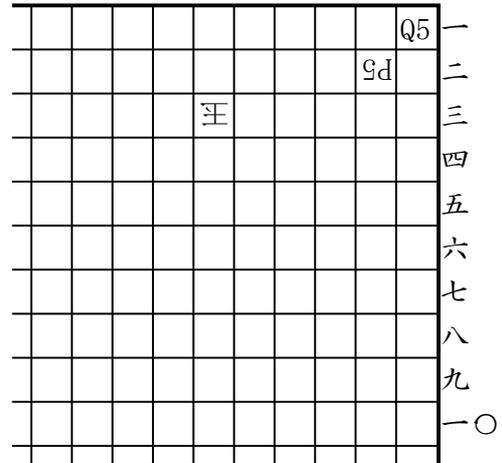
【P(n)-Leaper】 (Pn) ※本文参照

■ 108-sp1 神無太郎氏作
協力自玉スタイルメイト 10 手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛香2
※Q3:Q(3)-Leaper 王
P3:P(3)-Leaper

■ 108-sp2 神無太郎氏作
左下無限盤成禁
協力自玉スタイルメイト 10 手
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角銀2
※Q5:Q(5)-Leaper 王
P5:P(5)-Leaper

以上

【例題 2 の解答】

57 角 46 飛 33 角 同玉 66 角 同飛
まで 6 手

(最終形)

									Q2	一
										二
						王				三
										四
										五
			飛							六
										七
										八
										九

持駒 なし



フェアリー版くるくる作品展 9

久しぶりのフェアリー版くるくる作品展です。神無太郎氏の3作を出題します。毎回くるくるではない！とお叱りを受ける場合が多いのですが、今回は掛け値なしに分りやすい作品です。ルール名にびびらず是非解いてみてください。たくさんの解答よろしくお願ひ致します。

解答送り先：

たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

解答締切：平成 31 年 2 月 15 日（金）

くるくる 16 神無太郎作

安北ばか自殺スタイルメイト 35 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
			桂	桂	桂				二
			香		香				三
			飛		飛				四
					桂				五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩17

くるくる 17 神無太郎作

Isardamばか自殺スタイルメイト 36 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								王	六
									七
									八
									九

持駒 歩9

くるくる 18 神無太郎作

対面天使詰 37 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩18

【ルール説明】

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる

【ばか自殺スタイルメイト】

先後協力して最短手数で、攻方の王を王手は掛かっているが、合法手のない状態にする。

【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。成駒と生駒は別種の駒として区別する

【対面】

敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる

【天使詰】

先後協力して最長手数で受方玉を詰める。

ちょっと早い2019年 年賀詰作品展解答

〔解答成績〕(敬称略)

○:正解 ×:誤解 -:無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	計
橋本孝治	○	○	○	○	-	○	5
一乗谷酔象	○	○	-	-	○	-	3
占魚亭	○	-	-	-	-	○	2
はなさかしろう	-	○	-	-	-	-	1

毎年恒例のちょっと早い2019年年賀詰作品展。今年は6名の方から投稿頂きました。フェアリー作品4題と推理将棋2題。

難解だったのか、17日まで解答が1通も届かず、これは再出題しなければいけないかと思っていた所、解答締切最終日にバタバタと解答を頂きました。皆さんギリギリまで考えられていたようです。解答者は4名。全題正解者は0でしたが、各題全てに正解が入り(図には載せていませんが4番は直接作者に解答を送っております)、ひとまずホッとしました。解答頂きました皆様ありがとうございました。

1番 神無太郎作

協力詰 11手

■: Imitator

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							■	王	九

持駒 金桂

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。このImitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【ヒント】

いきなりのImitatorで怯む方も多くいると思いますので大盤振る舞いのヒントです。詰上りの玉位置は19、Imitatorは39で、壁駒打ちなし。

19金 38玉[I48] 29金[I58] 37玉[I57] 49桂
27玉[I47] 38金[I56] 18玉[I47] 28金[I37]
19玉[I38] 29金[I39] 迄 11手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
						桂	■	金	王

持駒 なし

★新年早々、皆さんが苦勞しているImitatorということでちょっとヒントを多めに出させて頂きました。太郎さん失礼しました。

壁駒打ちが出ないというのは大きなヒントで19玉での詰上りを想定すれば29金、39IM、49桂という形は何とか辿り着けると思いますが、しかしながら壁駒打ちなしの条件が無ければその辺りの紛れを読むこととなり苦勞する訳です。幸い本作の詰上りは15手まで伸ばしてもこの形しか無いようですので1つの詰上り型として覚えておくの良いようです。

桂を打つ関係で玉を7段目まで運ぶ必要があるのが当然ではありますが、Imitatorが56まで行ってしまうのは何だか遠くへ行き過ぎた感がありますが、先後協力して戻して来れるのでそうでもないんですね。小さな一から大きな一、還元■も解答者には喜びポイントになったようです。正解者も3名と幕開けに成功とっていいでしょう。

橋本孝治

大増量されたヒントのおかげで解けました。短い一から長い一、手数も11手。年賀詰にふさわしい作品ですね。

一乗谷酔象

56まで動いたiが収束4手で39まで移動するとは驚きました。

占魚亭

還元 IM が見事。ヒントがなかったら苦戦してました。

2 番 Pontamon 作 (余詰)

猪突猛進の歩

「おっ、息子が帰ってきたか。新年あけましておめでとう」

「初日の出まで時間があつたから推理将棋を考えたよ。干支の 12 番目のイノシシにちなんで 12 手詰さ」

「おいおい、新年の挨拶も無く、いきなりそれかよ」

「あきましてツンデノレおめで父さんテヘベロ」

「ツンデレにテヘベロ？若者言葉には付いていけないな。で、どんな推理将棋？」

「猪突猛進のイメージで作ったんだ。初手と 2 手目は飛の着手で…」

「猪突待った。初手と 2 手目だと飛は横にしか動けないじゃないか。それじゃイノシシじゃなくてカニだ」

「ん？"ちょっと待った"って言った？ま、いいか。猪突猛進の手は後手がある筋の歩を 4 回突いたんだよ」

「歩か。スピード感に欠けるな」

「4 回連続着手だから歩でもスピード感があるかな。その歩に限らず、動かすのをやめた駒は二度と動かすことはないんだ」

「もちろん正月らしく煌びやかな駒成はあるんだよな？」

「いや、駒成は無いよ。でも新年らしく初王手で詰むんだ」

条件

- ・駒成なく 12 手目の初王手で詰み
- ・初手と 2 手目は飛の手
- ・後手はある筋の歩を 4 回突く
- ・動かすのをやめた駒は二度と動かすことはない

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【作者解説】

解答

- ▲78 飛、△62 飛、▲76 歩、△34 歩、
- ▲77 角、△64 歩、▲86 角、△65 歩、
- ▲68 玉、△66 歩、▲77 玉、△67 歩不成迄 12 手

詰上図

後手の持駒：歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	懸	令	王	令	懸	科	皇	
二				飛				皇		
三	歩	歩	歩		歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六		角	歩							
七	歩	歩	玉	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八			飛							
九	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	

持駒 なし

まず、余詰みの修正から。

たくぼんさんから指摘があつたのは、7 段目へ上がった金を 4 連続目の歩不成 (10 手目) で取って、その歩の先へ金を打つ手順でした。4 筋、5 筋、6 筋の歩の 4 連続で詰む形 (頭金や腹金) があり、数えてみたところ 1296 手順ありました。(もっとあるかも)

修正は会話の最後の 2 文を

「もちろん正月らしく煌びやかな駒成や金銀の手はあるんだよな？」

「いや、駒成も金気の手も無いよ。でも新年らしく初王手で詰むんだ」

にして、最初の条件を

- ・駒成も金銀の着手もなく 12 手目の初王手で詰み
- に変更するものになります。

本作は、▲43 歩成までの 11 手詰の両王手が元になっています。

- ▲48 飛、△34 歩、▲76 歩、△33 角、
- ▲46 歩、△24 角、▲45 歩、△42 玉、
- ▲44 歩、△33 玉、▲43 歩成

11 手詰では 32 地点が空いているので歩成での両王手でないと詰みません。玉尻を埋める駒があれば空き王手になるし、12 手だと飛と香で玉をサンドイッチにする紛れ筋もあるので、狙いは両王手ではなく 12 手詰の空き王手でした。

歩成ができるなら簡単ですが、4 連続の歩の着手だと 7 段目への歩不成になります。

歩不成で詰むとすると、飛と香で玉をサンドイッチにする紛れ筋が浮かぶかもしれません。

- ▲38 飛、△42 飛、▲76 歩、△74 歩、

▲55 角、△44 歩、▲91 角不成、△45 歩、▲48 玉、△46 歩、▲58 香、△47 歩不成の手順では、▲59 金左が間に合わず、玉の退路が残る。

余詰み手筋が修正されていると、歩で王手している詰みが無さそうなので、考えるのは空き王手。となると初形の角をいかす△34 歩までの手順。

▲78 飛、△62 飛、▲76 歩、△64 歩、▲77 角、△65 歩、▲86 角、△66 歩、▲68 玉、△67 歩不成、▲77 玉、△34 歩で決まったようですが、この手順だと王手は2 回なので、最終手△67 歩不成の手順が正解になります。

★詳しい解説は作者にお任せしてすることにして、投稿時には解答が分かりませんでしたので私も考えました。Pontamon さんは開き王手という認識が無いのでまず初めに浮かんだ筋は金を7 段目へ運んで4 連続歩突きで奪い金打ちまでという順。並べてみるとあっさり条件に合致して詰んでいるではないですか。作者に連絡を取ってみると余詰との事。実に簡単な筋だったので作者もうっかりしたのでしょう。作意の順は全く浮かびませんでしたね。解答者3 名で作意解3 名、余詰解（双方解）1 名←私除くはちょっと意外な結果でした。作者の作品の個性が知られている結果でしょうか。

橋本孝治（作意解）

Pontamon 氏の作なので「開き王手」にヤマを張り、それが当たったおかげで楽に解けました。敢えて両王手にしない歩不成は新鮮な味わいです。

一乗谷酔象

双方の飛を上手く配置し開き王手を狙う筋。作意でしょう。

余詰解

- ・18 飛 92 飛 56 歩 54 歩 68 金 55 歩 57 金 56 歩 38 金 57 歩不成 16 歩 58 金まで 12 手。非限定多数あり
 - ・78 飛 92 飛 46 歩 44 歩 48 金 45 歩 47 金 46 歩 68 銀 47 歩不成 38 銀 48 金まで 12 手。非限定多数あり
- 金打の筋を見逃すとは Pontamon さんらしくない。

はなさかしろう（作意解）

先手の角と玉の動きがぴったり。気持ちいい詰め上がりでした。

3 番 変寝夢作

協力自玉スタイルメイト 58手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一		科				龍	龍	と	角	
二			金	と	と	と	と	香		
三		金					香			
四			銀							
五		歩						歩		
六						銀	歩			
七		香		歩					歩	
八		と			歩					
九	と		香	香	桂	桂				

持駒 銀香

作者コメント

年賀詰です。玉方の ONI ということで INO(亥)で作ってみました。中盤での鬼らしい動きが狙いです。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で、攻方が合法手のない状態にする

【鬼（ロイヤル駒）】

一番近いところにいる敵駒を取ることによってのみ移動する駒。距離の測り方はマキシと同じ。（距離は将棋盤を9×9の正方形とみなし通常の平面幾何的な距離で計算する。持駒を打つ手は距離1と定義する）

★「フェアリー時々詰将棋」での「鬼」の紹介記事 (<http://fairypara.blog.fc2.com/blog-entry-66.html>、及び

<http://fairypara.blog.fc2.com/blog-entry-67.html>) を参照のこと

【ヒント】

攻方王がありませんので攻方の駒を全て盤上（持駒を含めて）から消し去ります。鬼は通常の動きとは異なる動きをしますのでご注意ください。特に中盤は不規則な動きになります。龍以外の攻方の1, 2段目の駒は収束まで動きません。

68 銀 同鬼 78 と 58 鬼 68 と 59 鬼
 69 と 同鬼 68 金 同鬼 57 銀 67 鬼
 56 銀 同鬼 65 銀 同鬼 57 桂 85 鬼
 84 金 同鬼 86 香 同鬼 81 龍 57 鬼
 87 龍 36 鬼 47 金 25 鬼 85 龍 17 鬼

29 桂 同鬼 89 龍 47 鬼 87 龍 同鬼
 81 龍 99 鬼 92 龍 同鬼 82 金 同鬼
 72 と 同鬼 62 と 同鬼 52 と 同鬼
 42 と 同鬼 32 香成 同鬼 31 と 同鬼
 21 香成 同鬼 22 角成 同鬼 迄 58 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★鬼という特性「一番近いところにいる敵駒を取ることによってのみ移動する駒」を使いスタイルメイトにするために駒を消していきます。序はなるべく駒を消す方向に進めていきますが、中盤に入ると小駒だけでは1～3筋の歩を消去するのが難しくなります。そこで1段目の龍を活用することになりますが、21手目の86香が先を見越した好手。そこを看破してもその先の47金がまた見え難い一手で解答者を悩ませます。87龍、同鬼まで来れば一旦81龍として99とを取らせ92龍、同玉で以下は紛れることなくきれいに全ての駒が消え去りました。残念な事に私は最初に解答を見てしまいましたのでどのくらいの難易度かは分かりませんでした。正解者1名という結果はやはり難解であったということでしょう。

橋本孝治

鬼ごっこが終わり、盤上に一人取り残された鬼。他の子はみんな家(駒台)に帰ってしまったようです。作者のコメントにもある通り、25手目から35手目まで手順には骨がありました。局面ごとに33香や72金など距離の比較対象駒が変わることも、解図を難しくしています。

一乗谷酔象

下辺を一掃して99鬼に91龍から収束で終わりと考えたが紐付きの72金が91龍より鬼に近く失敗。※持駒を打つ手の距離を定義しているが不要ではないでしょうか。

★鬼が「一番近いところにいる敵駒を取ることによってのみ移動する駒」という事ですので合駒を打つケースは無く不要と思います。

★私最初は勘違いしていたのですが、一番近い敵駒を取るという言葉より、紐付きの駒は除き(取れないので)紐付きでない敵駒を取ると勘違いしておりました。この辺りはちゃんと表記したほうが良かったかもしれません。

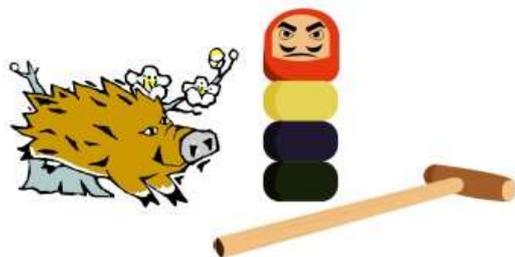
4番 神無七郎作

Isardam協力自玉詰 24手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

旧年中は大変お世話になりました
 今年もよろしくお祈りします



【Isardam】(タイプA)

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。
 玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。
 成駒と生駒は別種の駒として区別する

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

57歩 同玉 58歩 56歩 同と 47玉
 48歩 46歩 57と 36玉 47と 45玉
 36と 55玉 45と 56玉 57歩 55歩
 同と 57玉 56と 47歩成 58歩 同と
 迄 24手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
				と				六
				王				七
				又	歩			八
				玉				九

持駒 なし

★毎年賀状形式で投稿頂いている七郎さんの小品。初形「1」から46歩を発生させてと金と玉が鬼ごっこをします。回転させるのに必要な歩を対駒で発生させて無駄がありません。それと作者に言われて気付いたのですが初形と詰上がりを見て見事にダルマ落としが表現されています。年賀状イラストもヒントとは恐れ入りました。全てにおいて完璧の一作です。

作者

初形と詰上りを比べてください。8段目の歩が横にはじき出されて、5段目から7段目の三枚が落ちています。ダルマ落としのイラストがヒントだったのですが、何人氣付いたでしょうか？

たくぼん

Isardam ルールを利用して歩を稼ぎながらの1周は素晴らしいですね。

5番 はなさかしろう作

■ 推理将棋×中立駒 年賀 2019

「謹賀新年！ 指し初めしてきたよ」
 「賀正！！ どんな将棋にしたの？」
 「駒を並べた後、99香を中立駒にしてから対局を始めて、11手で詰んだよ」
 「ふうむ。年賀要素がピンと来ないなあ」
 「その、1と9がにじゅうで、2019……」
 「……こじつけたね」
 「それだけじゃないよ。最終手の31n香成が初めての成なんだ」
 「なるほど、平成最後の31年だね。でもそれだけでは棋譜は再現できないな」
 「あと、歩頭への着手があったよ」
 (条件)

- ・初形配置のうち99香のみを中立駒にした局面から11手で詰んだ
- ・最終手の31n香成が初めての成
- ・歩頭への着手があった

作者コメント

本問は推理将棋×中立駒ですが、導入する中立駒を明かしており、枚数も1枚なので通常の推理将棋と同様の感覚で解けると思います。年賀問題はお屠蘇気分であげ気味に解けるのがひとつの理想とのことですが、中立駒を使ったことで、残念ながらそこまで易しくはないかもしれません。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【中立駒】

どちらの手番でも動かせる駒。

【ヒント】

推理将棋はヒント出しにくいですね(笑)。最後の31n香成が直接王手か開き王手かを見極めることが大切です。

76歩 42金 33角生 41玉 42角生 99角生
 53角生 22飛 62金 36n香 31n香成
 迄 11手詰

詰上図

後手の持駒：銀

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇	科	爵	丞		王	相	科	皇
			金				飛	
歩	歩	歩	歩	角	歩		歩	歩
			歩					
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩
							飛	
皇	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香

持駒 歩2

【作者解説】

最終手の31n香成が直接の王手の場合と空き王手の場合が考えられます。

- ・空き王手をかける駒が飛の場合： 例えば76歩、42飛、33角生、52玉、42角生、99角生、22飛、32n香、33角生、51金左、31n香成といった手順になり、不詰。

・空き王手をかける駒が角の場合： 例え

76歩、52玉、33角生、62飛、15角生、99角生、98飛、34n香、99飛、44歩、16角は先手の1手不足で不詰。

・直接の王手の場合： 41の玉を中立成香で詰ますことにはなりますが、22n成香という受けが利かないように攻める必要があります。一案は両王手ですが、例えば

76歩、42金、99角、34歩、22角生、41玉、32n香、24歩、23角、51金、31n香成は52玉の逃げを塞げていなくて不詰。

そこでもう一案、53角から31のn成香にひもをつけ、22に壁駒を置く形を目指します。作意は76歩、42金、33角生、41玉、42角生、99角生、53角生、22飛、62金、36n香、31n香成までの11手詰です。

★推理将棋に中立駒を導入した作品。WFP作品展105-7で同じ作者での初形からどの駒が中立駒を推理する作品はありましたが、中立駒を明示して手順を推理する作品は初めてかと思います。中立駒は先手からも後手からも取る事が出来るのでそれだけ紛れも増え、尚且つそれを使用する際にスピード(?)もアップする為、解くにはそれなりの感覚が必要となります。本作は99n香を取って、それを打ち31n香成とするという道が見えていながら、正解に辿り着いた解答者1名という結果はそれを実証した感じでしょうか。先手が取る方が早いだけに後手に取らず順は盲点となりやすいでしょう。後手に取らずことにより全ての手がきっちり組立られていてお見事の一言です。今後もきっと推理将棋+中立駒の組合せは出てくることでしょう。楽しみにすることにしましょう。

一乗谷酔象

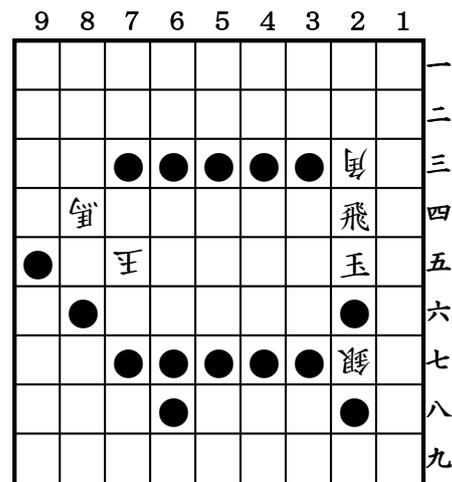
n成香の動きを潰す22飛。手順前後を許さない見事な手順。

橋本孝治(無解)

31n香成が直接王手と開き王手(両王手)の両方を考えてみましたが、どちらも手数不足を解消できませんでした。残念ながら白旗です。

6番 たくぼん作

協力自玉詰 14手



持駒なし

作者コメント

不要石がありますが、ご容赦を。イノシシに見えるでしょうか？

【協力自玉詰】

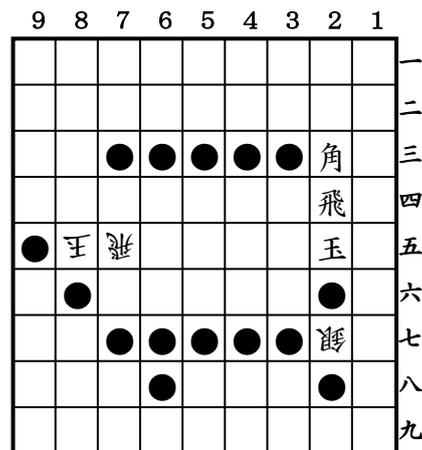
先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【石(●)】

不透過・不可侵の領域を表す。飛び越すことは可能。

74飛 85玉 84飛 同玉 66角 75飛
同角 94玉 24飛 74飛 93角成 85玉
75馬 同飛 迄 14手

詰上図



持駒なし

橋本孝治

石の配置を使ったイラストはほぼ万能。非限定防止のついでに、開き直って盤上に駒を余分に置いてもお正月なら許されそうです

ね。玉同士が遠いので大駒で詰める手順は予測しやすかったです。

占魚亭

さらりと攻方飛の復活。いいですね！

★イノシシの形をと頑張りましたが石以外では形が作れず（強欲ばかりではありきたりなので）不要石もある妥協の産物でした。手順は飛と角と玉だけのやり取り+24 飛限定が売り。

【総評】

橋本孝治

年初から全問正解で景気よくスタートと行かなかったのは残念ですが、まあまあ成績でしょうか。今年もまた面白い作品と出会えることを楽しみにしています。

はなさかしろう

いつも楽しく拝読しております。本年も何卒よろしく願い申し上げます。WFPの2019年年賀詰、手も足も出ませんでした・・・が、推理将棋だけはなんとか解答いたします。

占魚亭

締切りを過ぎてしまいましたが（すみません）

はてなダイアリー終了に伴い、はてなブログに移行します。新 URL は

<https://sengyotei.hatenablog.com> になりますので、変更をお願いします。

【おまけ】

たくぼんの解図日記に発表した私の作品にも解答を頂きましたので掲載します。

強欲協力詰 55手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と						一								
と	と	歩	と	歩	歩	歩	歩	歩	金	二								
			歩							三								
		と		歩		香				四								
			香		香					五								
		銀		香						六								
	歩		銀		歩					七								
		歩				歩				八								
	王							銀		九								

持駒 歩3

78 銀 同玉 87 銀 同玉 86 金 同玉
 85 金 同玉 84 と 同玉 83 と 同玉
 82 と 同玉 72 と 同玉 63 香成 同玉
 53 歩成 同歩 同香成 同玉 52 と 同玉
 42 香成 同玉 32 香成 同玉 22 金 同玉
 23 歩 同玉 24 歩 同玉 25 歩 同玉
 26 歩 同玉 27 歩 同玉 28 歩 17 玉
 18 歩 26 玉 27 歩 同玉 28 歩 36 玉
 37 歩 同玉 38 歩 同金 同銀 28 玉
 29 金 まで 55 手

詰上図

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
										五								
										六								
										七								
						銀	王	歩		八								
							金			九								

持駒 なし

橋本孝治

小駒主体で紛れも少なく気持ちよく解けました。「亥」からどんどん駒が消えて一「丁」あがり、といった所でしょうか。

★上手い短評です。座布団 1 枚です。

一乗谷酔象

新年早々気持ちよく解けました。

★皆様にとって良い 1 年でありますように。



WFP サロン

年賀詰紹介

たくぼん

加賀孝志「1月」

安南協力自玉詰 10手

										一
										二
				王						三
				銀						四
				角						五
				歩						六
				玉						七
										八
										九

持駒 なし

加賀孝志「1日」

安南協力自玉詰 10手

										一
										二
										三
				玉						四
				皇						五
				皇						六
				王						七
										八
										九

持駒 金2

吉田直嗣 年賀推理将棋 31に決め手

「あけましておめでとう。指し初めしてきたよ」
 「途中まで観戦させてもらった。端の手に対し後手が金の手で応じた所まで見たけどその後どうなった？」

「11手目に3一の手で詰ませて勝ったよ。玉の手が2回あって成る手はなかった」
 「平成31年元旦、指し初めに相応しい一局だね。今年もよろしく」

さて、どんな将棋だったのだろうか？
 そして平成31年、貴方の勝負手は？

1. 11手目の3一地点の着手で詰んだ
2. 端の手に対し後手が金銀の手で応じた
3. 玉の手が2回
4. 成る手はなかった

(余詰の為、条件2を変更 2019/1/26)

中田了 年賀推理将棋 3と1で19へ

「あけましておめでとう。指し初めといくか」
 「成る手はなく、12手で詰んだね」
 「玉は猪突猛進で一気に19へ行くこともできたけど、3手連続とその後の1手の2回に分けたね」
 「2019年、平成31年の指し初めは、十二支の12番目の亥の年に相応しく12手での対局だったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？
 1.駒成なく12手で詰んだ
 2.玉は3手連続とその後の1手で19へ移動した

変寝夢

All_In_Shogi協力詰 9手

									王	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
								玉		九

持駒 香

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2019年2月15日(金)

第107回 WFP 作品展

フェアリー作品 11題

推理将棋 1題

2019年3月15日(金)

第108回 WFP 作品展

フェアリー作品 11題

推理将棋 1題

第108回 WFP 作品展特別出題

フェアリー作品 2題

作品募集締切一覧

2019年2月15日(金)

Fairy of the Forest #58

協力詰 (自由課題)

投稿先: 酒井博久

(sakai8kyuu@hotmail.com)

2019年4月14日(日)

第50回神無一族の氾濫

課題: 対称性を主題とした作品

投稿先: 神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com)

詳細は P12 をご覧下さい



あとがき

小西寛 安南詰全集

このほど、佐藤達也さんの編集による「小西寛 安南詰全集」(安南詰一筋 足跡を訪ねて)が発行されました。

製本版が必要な方は実費 ¥300 にて配布されていますので、郵便振替「01380-2-107692」加入者「佐藤達也」までとのこと。

フェアリストにはたまらない一冊と思います。

たくぼん

2019年 第127号

Web Fairy Paradise

非売品

平成三十一年一月号

平成三十一年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp